

アジア太平洋戦争末期、日本の「防波堤」にされた沖縄では、3ヵ月にわたる地上戦で多数の住民が犠牲になりました。沖縄に配備された日本軍は、部隊が駐屯した津々浦々に130ヵ所余りの慰安所を作り、沖縄や朝鮮、台湾、本土の女性たちを「慰安婦」にしました。日本軍が敗退した米軍占領下では、米兵による強かん事件が多発。本土復帰後、なお40年経っても性暴力事件は後を絶ちません。女性たちの闘いは今も続いています。

【主な展示内容】

- 沖縄の歴史：王国時代、琉球処分から同化政策まで
- 日本軍の配備と慰安所設置
- 沖縄全域の慰安所マップ
- 沖縄戦の実相：住民被害、学徒動員と「集団自決」
- 第32軍司令部壕にいた女性たち
- 「慰安婦」にされた沖縄・九州・朝鮮の女性たち
- 渡嘉敷島、座間味島、宮古島の慰安所
- 米軍駐留と性暴力被害
- 沖縄戦と軍隊による性暴力を記憶し行動する女性たち

沖縄ではハジチ(入れ墨)は成女儀礼、魔除け、おしゃれなどで広く行われていた。琉球処分後の1899年に刑法で禁じられ、施術者が検挙されるようになった。



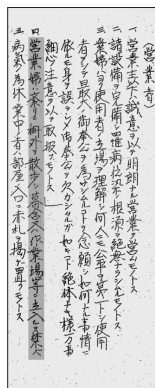
提供：那覇市歴史博物館



座間味島の「集団自決」で亡くなった少年の寝間着と胸の内ポケットに入っていた「スパイ防止マーク」。このマークは各戸に配られ、外出時には誰もが身に付けなければならなかった。



2012年3月、第32軍司令部壕跡に設置した説明板からは、沖縄県によって「慰安婦」の存在と「住民虐殺」が削除された。県内外から、沖縄戦の実相をゆがめると批判されている。



内務規定
 第32軍司令部
 軍人俱樂部二関スル規定
 (第24師団歩兵第32連隊)には、慰安所の設営・運営に関する規定のほか、軍人、営業者、業婦の心得が書かれている。業婦(「慰安婦」)に対しては散歩を制限したり、平等な性の奉公を求めると、一挙手一投足まで管理するものだった。



渡嘉敷島で「慰安婦」にされた斐奉奇さんは戦後も沖縄に残留し、沖縄で生涯を閉じた。展示した遺品の数々からは、つましいが清潔に保たれた生活ぶりを知ることができる。

斐奉奇(ペボンギ)さん。炊事班をさせられていた二三四高地陣地跡で。



提供：川田文字



日本軍に接収されて慰安所にされた座間味島・阿真集落の民家。休日には2軒の慰安所に大勢の日本兵が詰めかけ、行列を作っていた。



米軍基地をなくすため、沖縄の女性たちは日々活動している。写真は、普天間基地移設場所の「たらい回しはダメ！」と県知事に要請する、名護を含む県内の女性たち(1998年1月)

壁一面に掲載された、300件余りの米兵による性暴力事件の数々。1945年の米軍占領から今日まで、新聞や書籍、証言などで明らかになった事件を一人称で記述。その背後には、告発できなかった無数の被害がある。



今回の特別展は、沖縄の女性たちによる「沖縄戦と日本軍『慰安婦』展実行委員会」の協力をいただきました。

会員になりませんか？

wamは国や行政から支援を受けず、自立して運営する民衆の資料館です。ぜひ会員になって支援してください！

友の会：3,000円(年) 維持会員：10,000円(年)

会員には会報やイベント案内などをお送りします。維持会員は入場無料、セミナーやカタログの割引もあります。

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051

t 03-3202-4633 f 03-3202-4634

wam@wam-peace.org www.wam-peace.org

開館時間：水～日 13:00～18:00

休館日：月・火・祝日

※祝日の休館日はお問い合わせください。
 ※団体の時間外訪問はご相談ください。
 ※展示入れ替え期間は休館となります。

入館料：18歳以上 500円
 18歳未満 300円
 小学生以下 無料

※障がいを持った方の付き添いは無料です。

